

# ベトサダ ニュース

NPO法人 自立支援事業所ベトサダ

〒001-0021 札幌市北区北21条西2丁目1-3

TEL:011-716-5130 ◆ FAX:011-708-7117

HP: http://www.npo-bethesda.com

mail: office@npo-bethesda.com



9月6日に発生した北海道胆振東部地震において、犠牲になられた方にお悔やみを申し上げるとともに、被害に遭われた方にはお見舞いを申し上げます。ご支援頂いている皆さま方には被害はなかったでしょうか？

**ベトサダのある札幌市北区でも震度5強を観測しました。**  
何せ築50年を超える木造アパートゆえ、室内で家具が倒れる等の不安よりも、建物自体が倒壊するのではないかと恐怖心に襲われました。

幸い、建物や入荘者には被害が無く(一名、揺れに慌てて窓から屋外に避難した時に転倒した者がいました)が軽症で済みました。ガスと水道は通っていました。特に入荘者の食事面を考えました。

朝食・昼食は手当出来ましたがこのまま停電から復旧出来ない状態であれば夕食を準備する事は不可能です。どうしようか思案している中、ベトサダの近くの小学校が避難所になっていることがわかり、避難所に入らなくても非常食を頂けるといふ事でしたので人数分のクラッカーを頂戴して来ました。入荘者達には少ない量でしたが、非常時でもあり我慢してもらいました。当日夜11時には停電も復旧し、翌7日からは通常の生活に戻る事ができました。

**本年1月末の他団体での火災事故を受け、防火態勢は整えて来ましたが『停電』への備えが不十分でしたので、これから冬期を迎えるにあたり、電源を使わないストーブ等の購入も考えています。**

と、ここまで書いて来たところで、**水道管の漏水が発見されました。**今月の水道料金が異常に跳ね上がったため水道局が点検に来てくれて判明したところ。ちょうど母屋で使用するメーター部分からの漏水とのこと。老朽化にプラスして今回の地震の影響もありそう。

母屋には食堂と浴室がありどちらも入荘者の生活には欠かせない場所です。早急に修理を依頼しますが、見積もりを出してもらい大家さんの協力も得ましたが、かなりの金額となりました。

防災関連に使うと考えると予算が今回の漏水修理で消えてしまいます。これから冬を迎える札幌では暖房器具は命をつなぐ必需品です。



**心苦しいお願いとはなりますが何卒ご理解の上、ご支援のほど宜しくお願いいたします。** 【山崎貴志】

朝夕寒くなってきましたが皆様いかがお過ごしですか？ 近年日本全国で天変地異と云いますか、気候がおかしくなっている様に感じます。

他にも修理を必要としている所が多く、工事が立て込んでいようになかなか着工出来ません。まだまだ余震が続く「ドキッ！」とすることが多く、揺れていない時でも横になつてると自分の脈で揺れているように感じます。いつ揺れるか分からない状況で、ベトサダは本当に心臓に悪いです。そして、**ベトサダは建物古いが倒壊するのではと心配です。見えない所でダメージが蓄積されていると思います。**

今回の地震を受け災害に備え防災グッズは必要だと思えました。とくに冬場だと電気のいらぬないストーブ等が必要だと思えました。電気が使えないと何も出来ないのでも発電機も必要なのかなと思います。でも、そんなに長い停電は余り無い様に思えますのでどうなのだろうと考えています。

今期も前半が終了し、9月末日での一時生活支援事業利用者数は前年度から引き継ぎも含め**86名**です。ほぼ前年と同数の利用状況です。自立で退居した人は**37名**・生活保護受給者**17名**・不明**13名**・現在利用中**11名**・その他**8名**(9月末現在)になります。雪虫も飛んでいて早々に雪が降りそうなので(既に降っているところも有ると思います)これから入居希望者は増えると思えます。

10月に入りベトサダはストーブが稼働している時間帯が出来ました。寒暖差が激しい時期ですので皆様体調に十分気を付けてください。今後ともご支援ご鞭撻の程宜しくお願い致します。【事務局 藤原】



多くの方々より、暖かいご支援をお預かりしました。

下記の物が、特に不足しています  
ご協力よろしくお祈りします

- ・ 枕 ・ 敷布団 ・ 毛布
- ・ パスタオル、タオル
- ・ ティッシュなど生活用品

## 震災に思う事

会員の皆様、並びに支援者の皆様、日頃から当施設の活動と困窮者支援にご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。そして決して忘れられない出来事でありました、**胆振東部地震発生に際し被災された方々に、お見舞い申し上げます。**今回はこの震災について、お話しして行きたいと思えます。

**9月6日未明に発生した地震は、北海道全域の電力消失という現象をもたらしました。**震源地近郊に配置された道内の主電力供給源であった苫東厚真火力発電所が停止し、他の火力発電所も連鎖的に運転が停止した事が原因との事です。需要量に対し供給量が不足し、各々の発電所が発電機の破損を防ぐ為の緊急停止措置だったそうです。

この事により多くの道民が初めて知り得た事は、(泊の原発を除き)道内の水力・火力発電所の中で、その大半の電力を供給していたのが厚真発電所であった事と、その厚真が止まれば、他の発電所のみでは全道の電気が賅えないという事でした。

本州とは違い緊急時に陸続きで他県から電力を分けてもらえる地域性とは異なる北海道ではこの地震を機に、この事を見直し今後は強靱な電力供給システムの構築を求められる事と思えます。

**人は普段の生活の中で、当たり前のように思っている事が失われると困るものです。**

当施設に来る相談者もその殆どがある時を境にそれまでその人が必要としていた何かを失っています。失った理由は様々ですが、その大半は**管理の問題**でした。

生活の中で何かを失うと、それを取り戻す為には時間がかかります。そしてそれを取り戻せず他の事も失い生活に窮する事となります。備えあれば憂いなしと言いますが、不測の事態に際し、対応力の有無でその後は大きく変わります。そして対応しきれないと思うならば、他人の力を借りても立て直しを目指すのが先決と思えます。

今回の地震で道民の方々はそのそれぞれの場所で助け合い、協力しながらこの地震を乗り越えられたと思います。困った時は遠慮なく人を頼り、乗り越えていく事が大切だと思います。当施設は今後も頼られる場所であるように**困っている人達の支援をしていきます。**今後とも皆様の支援をよろしくお願い申し上げます。【施設長 二瓶】

そろそろ冬支度を始めまじょうと、この時期お知らせしてくれる雪虫も飛び始めました。日没も早くなり、夜が長い分、寒さを感じる日も増えてきました。ここに来て、灯油価格の高騰は、とてもダメージが大きいですね。なので、カーディガンや羽織って、せつかくの秋の夜長、読書をたくさんしようと思えます。

強風や地震などの被害により、通常の生活がままならない方々も、まだ沢山いらっしゃいます。心より、お見舞い申し上げます。今、自分が出来る事を精一杯頑張ろうと思えます。

【佐藤】

**【寄附者様】** アイウエオ順  
8月1日～8月末日  
上野祥子様/NPO法人あきた結いネット坂下美沙様/岡部欽一様/菊池園子様/佐藤好子様/清水恵子様/秀欧会福祉サービズ株式会社様/長尾光洋様/沼崎晃宏様/森田悦子様/他 匿名希望様、19名

9月1日～9月末日  
岡部欽一様/秀欧会福祉サービズ株式会社様/他匿名希望様、9名  
更に、8月は12名、9月も12名の方々よりご寄贈を頂きました。心よりお礼申し上げます。

ご寄附の際に、掲載「可」又は「匿名希望」のいずれかを〇で囲んで頂けると助かります。尚、記載の無い方は匿名とさせて頂いておりましたが、掲載可の方はお手数ですがご連絡下さい。以前いづれかの選択をされた方は、登録済みですので記入無でも大丈夫です。

入会金 無料・年会費 5,000円  
寄附 1,000円より承っております  
お一人様何口でもお受け致しております

◆年会費・寄附 送金先◆  
【ゆうちょ銀行】  
口座番号 02720-1-45798  
口座名義 特定非営利活動法人  
自立支援事業所 ベトサダ

みなさまの 会費・寄附は  
自立を目指す若者の  
生きる希望となります

